

校史上最大の快挙

昨平成20年秋、古橋廣之進さん(中18回)が文化勲章を受章されたことは、85年の歴史を誇る



母校浜松西高校・2万5千人を擁する同窓会にとつて、心から祝福すべき最高の慶事であり、校史最大の快挙と言えます。古橋さんとは、浜二中水泳部一年後輩として鍛えられ、浜西

高水泳部顧問の折には何かと指導激励を受け、さらに校長の時は全校生徒に「スポーツと人生」をテーマにその貴重な体験を語っていただくなど深い縁とお世話になりましただけに、今回



発行 静岡県立浜松西高等学校同窓会
発行人 寺田一彦
題字 町田晃集
編集委員 同窓会報編集委員会
浜松市中区西伊場町3番1号
電話 053-456-0662
印刷 (有)和三印刷
発行部数 16,100
浜二中卒業生 2,041名
浜西高卒業生 22,940名 (内女子4,687名)
内20年度卒業生200名(99名)



の朗報は我がことのように嬉しく思いました。

これまでも、夙に有名な古橋さんの偉大な業績に対しては、主なものだけでも紫綬褒章(昭和58)、文化功労者顕彰(平成5)、旭日重光章(平成15)と続き、その都度その時の立場も加えて、衷心より祝意と謝意を表しましたが、丁度五年前の祝賀会では、発起人の一人として『泳心一路』の偉績」と題して、氏の功績の一端を述べさせて頂きました。

その纏めとして『古橋さんの築いた水泳哲学は、万人の教育・文化にも通ずるもので、いわばスポーツ文化の大成者である』とその功績意義を率直に述べ、比類なき偉大性を強調したのをよく覚えていますが、そ

んな思いからか、およそ文化関係では最高限の榮譽に浴せられたことは、水泳はじめスポーツ関係者と共にこの上ない慶びと感激を味わいました。

そして、さる3月3日地元における受賞祝賀会が、母校浜西高同窓会と浜名湾游泳協会とが主軸で行われ、とくに同窓会の大変な熱意・連帯・努力のお陰で参加者七百人余という盛会で所期の目的が果たされたことは、何よりご同慶の極みと関係者に心から感謝申し上げます。

思うに、以前(平成19年同窓会報)も述べたように、古橋さんが残された『泳心一路』のスポーツ精神つまり人生哲学は、母校的にいえば「西山魂」の具現化であり、地域的には「やらまいか精神」の象徴とすれば、今回の慶事および関連イベントの成功は、トビウオ精神・西山魂・やらまいか精神の見事な発露であり結晶と称えられ、同時にそれは必ずや母校浜西高校・郷土浜松市の深化発展の原動力になるものと信じ、改めて関係各位への敬意と謝意とに代えます。

河合九平(中19回)

同窓会長挨拶



寺田一彦(高11回)

会員の皆様には同窓会活動への格別のご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。執行部・評議員ともに会員皆様の同窓会にすべく活動してありますが、ご満足いただけるには改善すべき課題が多く残されていると認識しています。

ここ数年懇親会を兼ねて同窓会総会を開いてきました。去る6月5日に開催された同窓会総会で申し上げましたとおり、会則では総会を6月開催と定められていますが、6月は結婚式のシーズンと重なり、皆様が参加しやすい日時や会場の設営は困難であります。そこで「新春の集い」との同日開催に向けて会則見直しを検討したいと申し上げた次第です。

「新春の集い」を核とした活動を進めることが同窓会活性化につながるものと確信しています。

来年の総会までには、様々な面から検討して新しい会則を提案したいと思えます。

新校長先生挨拶



校長 植松 豊

四月一日、満開の桜並木の美しさに目を奪われながら、ゆっくりと「知の坂」を登り、本校に着任いたしました。八十余年の長い歴史の中で、幾多の有為な人材を輩出してきた本校の学校運営に携わることができ、責任の重さを強く感じているところです。同窓生の皆様には、本校の教育活動に御理解をいただき、御支援・御協力を賜っておりますこと、深く感謝申し上げます。微力ではありますが、本校の更なる発展のために努力する所存ですので、今後ともよろしくお願いいたします。

生を出したのを機に、これまでの取組について様々な視点から検証を行い、いくつかの改善を進めてきました。一例をご紹介しますと、平成21年度から、高等学校入学者選抜の募集定員をこれまでの1クラス(四十人)から2クラス(八十人)に増やしました。八十人に増やした理由は、「四十人という少人数では志願しにくい。」「少人数のため、入学してから学校になじめるか心配だ。」などの中学生の声に比べると、入学選抜の裁量枠という制度を生かして部活動の一層の活性化を図ろうと考えたからでした。二クラスに増やした結果、高入生がすぐに学校にとけ込んで学習や部活動に前向きに取り組んでいる様子が見られることや、中学校訪問の折に聞く中学校側の評判も良いことから、適切な選択であったと感じています。

併設型中高一貫校として、中入生に対する六年間の計画的・系統的な指導、中入生と高入生がお互いを高め合う仕組みなどを工夫することにより、骨太な人間教育が行われ、いわゆる難関大学の合格率も従前に比べて大幅に上昇するなど、中高一貫教育の成果が現れています。今後とも知・仁・勇のバランスのとれた人材の育成を目指して、新たな挑戦を続けていきたいと考えています。

2010年新春の集い



静岡県立浜松西高等学校 同窓会 2010年新春の集い

■日時:2010年1月2日(土) 14:00 第一部 情熱対談「世界への挑戦」
■会場:グランドホテル浜松 15:00 第二部 新春のついで!ISENIGHTSHOUIE
主催:浜松西高等学校同窓会 運営:浜松西高第42回(平成2年)卒同窓会幹事会

「迷わず行けよ 行けばわかるさ」

多数のご参加お待ちしております。

二〇一〇年 新春の集い

日時 平成22年1月2日(土)

第一部 午後2時~

第二部 午後3時~

会場 グランドホテル浜松

会費

八、〇〇〇円(高42回卒以前)
五、〇〇〇円(高43回卒以後)

主催

同窓会長 寺田一彦

当番幹事 高42回卒

代表幹事 安間隆弘

事務局連絡先 安間隆弘

電話 080-3616-7928

E-mail:ippou-zeoi@softbank.ne.jp

平成二十一年度総会報告

六月五日(金)午後七時より、グラントホテル浜松鳳西の間にて、平成二十一年度同窓会総会が開催された。当日は朝からあいにくの雨であったが、八十四名の会員の出席を得た。

高校の二十教室に エアコン設置承認

議事に先立ち、寺田同窓会長より、今回平日開催となった経緯とお詫びと共に、今後の総会開催時期については、会計年度の変更・会則の変更を含め検討してきたいとの提案があった。続いての名譽会長である植松校長のお話では、生徒たちが部活でも進学でも頑張っていること、更に教職員も一丸となつて頑張っていることを伺うことができた。またエアコン設置についてのお願いがあつた。



- 今年度の議題は次の通り
- ◆平成二十年度事業報告
- ◆平成二十年度決算報告・同監査報告
- ◆平成二十一年度事業計画案
- ◆平成二十一年度予算案
- ◆教室の空調設備設置について

○今回最大の議題である、空調設備が設置されていない教室二十室に、空調設備を設置する件につき「設置時期は、静岡県教育委員会の設置許可申請が承認され次第、直ちに施工工事にはいる。設置費用については、同窓会と講演会が折半し、負担するが、一時的に同窓会が全額を

立替え、後援会は十二年間で負担分全額を同窓会に償還すること」が承認された。

報告事項として、二〇〇九年『新春の集い』近藤代表による報告と反省、二〇一〇年の安間代表幹事より、抱負と協力のお願いが述べられ、稲垣副会長からは、来年度の同窓会会員名簿の発行についての予定とスケジュールの説明があつた。

高四十二回の進行で 賑やかな懇親会

鶴の間に会場を移しての懇親会は、次年『新春の集い』の幹事の進行で、賑やかに行われた。乾杯の発声をお願いした河合九平氏は、グラスを片手に「昨年の古橋廣之進氏の文化勲章授章は西高八十五年最高の快挙である」と語られた。(※関連記事は第一面)

続いて植松校長より同窓職員十九名のうち、出席者九名の紹介



介があつた。従来新旧同窓職員と同窓会役員との顔合わせは執行部のみで行われていたが、今後は一層同窓会幹事としての役割を担ってほしいとの思いが込められていたこと、今回の顔見世となった。ここからはバイキングの料理を楽しみながら、学年を超えての和やかなひと時。ステージで

は来年の新春の集いの幹事によるプロモーション映像が流され、幹事たちは各テーブルに、あいさつと、チケット購入のお願いをして回った。

最後は恒例の前田氏による応援の号令に合わせた手拍子と校歌斉唱で閉会となった。

◆御悔み◆

- ▼中4 大庭英男・鈴木勇▼中7 山田喜麗▼中10 縣栄一・鈴木達彦・鶴田周久▼中12 小野田康文・神谷(岩井)孝▼中14 渥美信行・内山吉一・鈴木暁一▼中17 砂子(増井)栄一郎・谷野富敏・伊藤義雄・島津正・鈴木(熊谷)實・鈴木省一・鈴木孝英・岡野(鈴木)貫三郎・吉田章▼中18 久米隆▼中19 脇本亀玖増▼中20 川合尚孝・本白暢世▼高2 小谷栄市・沢木進・高橋(中村)忠男・袴田哲彦▼高3 渥美英一・脇本善男・内山桂一・坂田鎮雄▼高4 杉山元八▼高5 和久田統吉・倉橋錦弥・建部公秋▼高6 小池啓之▼高7 木村憲武・本田伸二・熊岡泰世・鈴木淳夫
- ▼高9 服部義昭・庵原康臣・神田和美▼高10 鈴木正剛▼高11 浅沼晴之・下位紀夫▼高13 添畑(鈴木)義則▼高15 山本康孝▼高22 鈴木哲雄・立川哲久・永田武彦▼高25 井上博正▼高26 袴田千枝子▼高29 小川光洋・小林哲▼高36 鈴木文範

同窓会専用電話・ファックス

☎/FAX 053-456-0662

Eメールアドレス

hama24@shizuoka.email.ne.jp

※毎週月曜日午後1時半～4時半までは事務員が応対。それ以外は留守番電話にメッセージを録音してください。

◎お願い◎

同窓会報は同窓会ホームページでもご覧頂けます。会報紙の郵送をご辞退頂ける方は同窓会事務局までご連絡下さい。ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

平成20年度 静岡県立浜松西高等学校同窓会一般会計決算書

収入総額 16,018,309 円
 支出総額 12,521,469 円
 差引残額 3,496,840 円

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	比較増減額	備考
繰越金	11,919,133	11,919,133	0	前年度繰越金
入会金	3,000,000	3,010,000	-10,000	高校61回卒業生200名、他1名
基金利子配分金	33,700	33,700	0	甲子園出場記念基金利子配分金
繰入金	1,000,000	1,023,306	-23,306	新春の集い剰余金
雑収入	37,167	32,170	4,997	預金利子、同窓会名簿代等
合計	15,990,000	16,018,309	28,309	

支出の部

科目	予算額	決算額	比較増減額	備考
1 事務費	700,000	655,015	44,985	
事務局費	400,000	377,210	22,790	事務局員給与、事務局維持費等
需用費	300,000	277,805	22,195	複写機リース料、プリンタートナー代等
2 会議費	850,000	541,519	308,481	
総会費	700,000	430,010	269,990	総会会議費
役員会費	150,000	111,509	38,491	役員会、執行部会会議費
3 事業費	4,400,000	4,324,935	75,065	
会報費	2,900,000	2,673,229	226,771	ホームページ運営費、会報印刷代・送料等
助成費	1,500,000	1,651,706	-151,706	慰霊祭、香料、激励費、海外研修援助費、西山賞、講演会謝礼等
4 繰出金	8,500,000	7,000,000	1,500,000	一般会計基金(定期預金)へ繰り出し
5 予備費	1,540,000	0	1,540,000	
合計	15,990,000	12,521,469	3,468,531	

平成21年4月20日
 以上のとおり報告します。

静岡県立浜松西高等学校同窓会 会長 寺田一彦
 会計 田中範雄

上記の決算について証拠書類、出納簿を精査したところ、適正かつ正確であることを認めます。

平成21年4月20日 会計監査 前田米蔵印 会計監査 磯部育夫印

平成21年度 静岡県立浜松西高等学校同窓会一般会計予算書

収入総額 37,066,000 円
 支出総額 32,920,000 円
 差引残額 4,146,000 円

収入の部

(単位：円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
繰越金	3,496,840	11,919,133	-8,422,293	前年度繰越金
入会金	3,000,000	3,000,000	0	高校62回卒業生200名
基金利子配分金	33,500	33,700	-200	甲子園出場記念基金利子配分金
繰入金	1,000,000	1,000,000	0	新春の集い剰余金
雑収入	35,660	37,167	-1,507	預金利子、名簿代
基金取崩し収入	29,500,000	0	29,500,000	基金(定期預金)解約
合計	37,066,000	15,990,000	21,076,000	

支出の部

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	備考
1 事務費	920,000	700,000	220,000	
事務局費	420,000	400,000	20,000	事務局員給与、事務局維持費等
需用費	500,000	300,000	200,000	コピーボード、複写機リース料等
2 会議費	700,000	850,000	-150,000	
総会費	500,000	700,000	-200,000	総会会議費
役員会費	200,000	150,000	50,000	役員会、執行部会会議費
3 事業費	4,300,000	4,400,000	-100,000	
会報費	2,800,000	2,900,000	-100,000	ホームページ運営費、会報印刷代・送料、会報編集委員会運営費等
助成費	1,500,000	1,500,000	0	慰霊祭、香料、激励費、海外研修援助費、西山賞、講演会謝礼等
4 基金繰入金支出	0	8,500,000	-8,500,000	基金(定期預金)設定
5 エアコン設置費	25,000,000	0	25,000,000	教室エアコン設置
5 予備費	2,000,000	1,540,000	460,000	
合計	32,920,000	15,990,000	16,930,000	

※科目間の流用を認める

二〇〇九年 新春の集いを終えて

代表幹事 近藤秀樹(高41回)

平成21年1月2日、今年もグランドホテル浜松において、盛大に「新春の集い」が開催できましたことを、まずは心よりお礼申し上げます。

本年の新春の集いは、「絆」西山系ハイザーの大同窓会「絆」をテーマとし、「ハイザーと聞いて米ビツとは思わず、西高！と叫ぶ面々」が一堂に会するお祭りイベントをモットーにしました。

「平成元年卒業」の我々41回卒は、今回の幹事役での大きな使命に《昭和卒から平成卒への架け橋になる》を掲げ、継承と変革を漢字1文字「絆」の言葉で表現。普段意識する同級生の横のつながりはもちろんですが、とりわけ縦のつながりを意識できる機会を提供したいという想いを強くこめました。

◎われら西高OBの誇り、文化勲章受章者 古橋廣之進さん(中18回卒)も大変お忙しい中「絆」に共感し、駆けつけてくださいました。用意した講演会場では入りきらない程多くの同窓生の前で、元氣にお話しされた大先輩の雄姿は、今でも脳裏に焼きついています。有難うございました。

◎シンガーソングライター岡野宏典さん(高52回卒)もギター一本でミニライブしてくれました。例年は目立たなかった20歳代の参加者も今回は目につきました。同窓生が多方面で活躍する幅の広さを感じました。

◎記念誌を従来のB5版からA4版に拡大し、内容も一貫して「絆」をテーマにして、西高OBが経営するグルメ情報や欄外の一言コメントなど、誰もが見て楽しめるものになりました。

◎その他でも、チケット代を2段階にしたり、協賛金によるエコバッグの制作配布やチャリティーを行うなど、様々な新企画を盛り込み過ぎたのでは？ちゃんともやれるのか？と正直、心配になる位やり尽くしました。

幹事として同窓生が20年ぶりに「新春の集い」という目的に向かって再会し、約1年間のすつたもんだの準備会の上、各自が人生史に残る大きな達成感を共有できたことに感激しています。また、今後数十年にも渡っていくであろう、友への「変わらないう絆」を再確認できたことを本当に嬉しく思っています。

当日、壇上が上がってくださった還暦を迎えられた高19回の方々に、百名近くという非

常に大勢のご参加をいただき、心より感謝申し上げます。記念誌上の紹介文や、お会いした学年幹事の方々との触れ合いからも、少しヤンチャで、それでいて硬派な、決して草食動物系ではない同じ臭いを感じました(笑)。この集いを機に、今後も益々ご活躍されることをお祈りしております。

この他、記念誌の発行にあたりましては、皆様から多数の御協賛を賜ることができました。取材、協賛依頼のために、無理な訪問や電話を重ね、不行き届きもあつたと思えます。この場をお借りし、お礼とお詫びを申し上げます。

そして、色々な場面で、我々幹事を励まし、応援して下さいました先輩方、嫌な顔せず協力し

てくれた後輩達に改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

来年、二〇一〇年の新春の集いは「新春IPPON・ZERO」のタイトルのもと高42回の皆さんが幹事を担います。その名の通り、非常に勢いのあるメンバーが顔を揃えていますので、本年以上に盛大な新春の集いとなることが期待されます。御参加、御協力、宜しくお願ひします。

今後も、この「新春の集い」が一年の良いスタートを飾ることになりますよう、そして西高同窓生皆さまの益々のご健勝を祈念して、挨拶とさせていただきます。

2009年 新春の集い 決算書

(単位:円)

科目	金額	備考
広告売上	9,192,000	広告協賛企業 391社
チケット売上	6,729,000	販売枚数 1,002枚(昨年805枚)
雑収入	95,000	ご祝儀
預金利息	2,573	
収入合計	16,018,573	

(単位:円)

科目	金額	備考
会場費	7,350,944	当日参加者934名(昨年実績712名)
景品費	671,223	当日景品
印刷費	2,960,564	記念誌、チケット、封筒、チラシ他
活動費		
通信費	260,689	葉書、切手、郵送料、通信費等
会議費	1,371,853	幹事会、各部会経費
事務用品費	279,426	コピー用紙、インクカートリッジ他
交際費	1,043,359	当日ゲスト、広告受注チケット販売経費他
その他雑費	82,830	交通費他
その他	400,937	寄付金、弁当お茶代
納会費	573,442	
一般会計繰入金	1,023,306	
支出合計	16,018,573	

以上の通りご報告申し上げます。

静岡県立浜松西高等学校

高41回卒 同窓会幹事会 代表幹事 近藤 秀樹
会計 加藤 弘和

上記の通り正確に処理され適正と認めます。

平成21年3月29日 会計監査 前田 米蔵
会計監査 磯部 育夫



第8回浜西フォーラム 瀧川鯉昇独演会

平成二十一年二月二十一日(土) ホテルコンコルド浜松で百余名の出席の元、浜西フォーラムが開催されました。

第一部では平成十四年度「浜松市ゆかりの芸術家」真打・瀧川鯉昇師匠(本名 山下秀雄 高23回)の講演「私が歩んできた落語人生」がユーモアたっぷりに語られました。

鯉昇師匠は明治大学卒業後八代目春風亭小柳枝に入門、その後、春風亭柳昇門下となりました。平成二年真打昇進、春風亭鯉昇となり平成十七年春風亭改め瀧川鯉昇となりました。

高校時代の、今だから話せる在学中のやんちゃぶり、また明治大学時代の思い出などまるで落語の本編を聞くような様々な抱腹絶倒のエピソードに会場は笑いの渦につつまれました。

続いて高座に席を移し、さらりとまくらを語った後に見事な所作で一気に引き込まれたのは



「ちりとてちん」の嘶でした。

間近で演じられる落語は五感を通して伝わってくる迫力に満ち、聴衆を魅了するものでした。

第二部は会場を「雲の間」に移し、和やかな懇親会となりました。世代を超えての楽しい語らいは浜西フォーラムならではのものです。

卒業年度別に壇上でのスピーチを行い和気藹々とした時間を過ごし、次年度の「新春の集い」幹事高42回代表メンバーと、高23回伊藤信行さんの指揮のもと校歌斉唱をもって会が締めくくられました。

高9回古希を祝う会

高9回は、平成21年4月25日、「古希を祝う会」を、浜松名鉄ホテルで開催した。小雨の降る中を児玉二郎先生、上山一雄



先生、杉山秀夫先生にご臨席頂きありがとうございます。西は福岡、東は千葉・埼玉から同窓生が56人集まった。

幹事代表の挨拶につづいて、物故者への黙祷、東京の会を代表して清水郁君から近況報告、昨年の叙勲で瑞宝双光章を受章した大石健次君へ花束の贈呈と進み、すべてのセレモニーが終わったところで、恩師3氏からお言葉をいただいた。

高9回は昭和20年4月まさに終戦を迎えようとしていたとき

に国民小学校へ入学した。授業の最中に空襲警報のサイレンが鳴り、校庭の隅に掘られた防空壕へ転がり込んだ。また、昭和29年4月に浜松西高へ入学した3ヶ月後の7月5日に校舎が全焼する、という学校生活では類まれな経験をした学年である。そんなせいもかみんないしい。

70年の人生の中でたった3年間の交友ではあったが、こうして集い合うと終生の友としての太い絆を感じる。最後に榎吉清光君の指揮で、校歌と応援歌を歌って散会した。高9回全体の同窓会は、今回を最後とし、次回からは「有志の会」に姿を変えていく。

(高9回 近藤哲哉)

高11回「士会」 50周年と30周年

高11回卒「士会」の平成二十一年同窓会は、二月七日(土)、恩師三氏をお迎えし、70名の参加を得て盛大に開催できた。

私たちは今年、50周年と30周年という二つの節目に立っている。

一つは、今年が西高を卒業して50周年ということ。卒業以来50年の年輪を刻み、現役世代から高齢者といわれる世代へと差し向いつつ、感慨を深くしているところ。

二つ目は、この形ができて30周年ということ。西高新春の集



いの幹事役は卒業20年目である。

私たち11回生は30年前にやっている。その幹事役を学年全体でこなしたときに一つの結束が生まれ、「学年全体で毎年集う」という今の形ができた。これは、この形をつくり定着させることに汗を流してくれた同士のおかげである。

今年の集いは、今また新しい発見があればいいなと、ユニークな過ごし方している仲間の紹介をしたりして、和やかな語り合いの場であった。

(高11回 川瀬晴久)

第33回浜松西高同窓ゴルフ大会

優勝は一般の部松山巨男さん(高11回)

シニアの部山口斌さん(高7回)

風薫る5月21日、百年に一度といわれる経済不況のアゲンスト・ウインドの中、浜名湖カントリークラブで第33回西高同窓ゴルフ大会が開催されました。当初幹事学年の中では開催できるのか、人が集まるのかと議論が交わりましたが、草の根運動が実ったのか、「浜松西高同窓の…」という殺し文句が良かったのか、各学年のゴルフ会幹事の皆様のお陰で目標人数以上の同窓生が集まり、また地元企業の同窓関係者等より景品の寄贈を頂き、目的を達成することができました。



プレーでは浜名湖カントリー名物の強風も吹かず最高のゴルフ日和に恵まれました。また二三〇名もの方々がそれぞれのゴルフを展開するなか、同窓という和やかな空気に包まれ大きな事故もなく和気藹々と熱戦が繰り広げられました。さて、競技の結果は以下の通りです。

優勝 松山巨男(高11回) ネット71・6
準優勝 松本康廣(高19回) ネット71・6
第3位 鈴木興一(高12回) ネット72・2
グランドシニアの部(敬称略) 優勝 山口 斌(高7回) ネット69・6
準優勝 玉川武弘(高9回) ネット71・2
第3位 牧野守勝(高8回) ネット72・4
グロス82 ネット72・4

また、チャリティ募金の浄財(十万八千五百七十円)は今年度初創設の『頑張れ浜松応援基金』に第一号寄付団体として寄贈させて頂きましたことをご報告申し上げます。



最後にご参加頂きました同窓の皆様、多大なるご厚志を協賛頂きました皆様、厚く御礼申し上げますとともに、この大会が未永く継続されることを祈念いたします。

対浜松北高OB定期戦

野球 今年も北高に勝利!

今年も恒例の対北高定期戦が4月19日(日)、快晴の浜松市営球場で開催されました。午前中のOB戦には40歳以上14名、39歳以下13名が参加し、最年長鈴木晃さん(高2回)のハッスルプレーや藤田睦夫さん(高13回)の見事なピッチングなどで序盤は北高打線を抑え込みました。我が校は1回こそ無得点で終わってしまったものの2回からは打線の爆発と相手エラーなどで4回までに12点を奪い、後半の若手へバトンタッチしました。5回以降は、投げる球にも打球にもスピード感が加わり藤田



浩二さん(高36回)、飯田吉伸さん(高45回)の好投がありましたが、それを優る打ち合いで点の取り合いとなりました。8回表終了時点で時間となり、結局19対15で勝利をおさめました。これで対戦成績が15勝13敗3分となりました。

サッカー 第三十四回定期戦結果

現役A戦	浜西 0-0 浜北
現役B戦	浜西 1-2 浜北
60歳以上戦	浜西 0-3 浜北
50歳以上戦	浜西 1-0 浜北
40歳以上戦	浜西 1-0 浜北
30歳以上戦	浜西 3-1 浜北
18歳以上戦	浜西 3-3 浜北
西高中等部対北高現役C	浜西 0-0 浜北

ゲストマッチ 浜松特別支援学校 3-1 袋井特別支援学校
三十四回の西北戦を振り返って 毎年八月第一日曜日には、浜松西高校と浜松北高校のサッカー部定期戦が行われています。サッカーを楽しみながら、OB同士で旧交を深め、永遠のライバル北高と競い合う良い機会となっています。

見どころは、やはり真剣勝負の現役戦です。新人戦に向けてチーム内でのレギュラー争いは熾烈をきわめており、さらに、ライバル校にはお互い絶対に負けられないという意地もぶつかり合っており、壮絶な戦いになります。また、18歳以上の若手OB戦もかなり白熱した試合内容となり、見応え十分です。もちろん、かつて輝かしい実績を持った往年のプレーヤーたちの奮闘ぶりも見逃せません。そして、中等部生の北高一年生に対する勇猛果敢な戦いぶりにも注目です。

叙勲の人

平成19年秋の叙勲

文化勲章 古橋廣之進(中18回)
旭日双光章 太田 孟(中18回)
瑞宝双光章 大石健次(高9回)
平成20年春の叙勲
瑞宝小綬章 杉田 豊(高9回)



旭日双光章

太田 孟(中18回)

昨年の叙勲に於いて農業振興功勞により旭日双光章の榮に浴し、そして今年一月二日の新春の集いにも寺田浜松西高同窓会長様より表彰状、記念品を戴いたことは、身に余る光榮であり感激を致して居ります。これも、ひとえに永年にわたり皆様の暖かいご指導、ご支援のおかげであり、又、祝詞を多くの方々より戴いたことは、誠に有り難く、心よりお礼を申し上げていく処であります。

四十年余にわたり農協役員として就任中に、農協系統(市町村農協、県農協連立会、全国農協連合会)に浜松西高同窓生の方々が在職されておられ、各分野にて素晴らしい活躍をされて居り、万事につき、お支えをいただいたことは、有難く、退任後も忘れたことが出来ません。

戦中、卒業の浜二中十八回生は学徒勤勞動員や繰上げ四年卒により学ぶ期間は短かったが常

に西山台に学んだことをなつかしく想うと共に大きな心の支えであると思つて居ります。

何卒、浜松西高校が未来に向つて益々の飛躍されることと、同窓生、在校生の皆様のご奮闘、ご活躍をご祈念を申し上げます。



瑞宝双光章

大石健次(高9回)

人に優る才能もなく、これを補うほどの努力家でもないことを自覚していますので、この度の受章を心苦しく思つています。古希を機にこれまでの歩みを振り返りますと、多くの方々との偶然とも言える出会いが線となり面となつて、自分の道ができてきたことをしみじみと発見します。

私にとつての幸運は、すばらしい方々との出会いに恵まれたことに尽きます。そのお陰でさまざまな経験をさせていただきました。

二十歳代に静大付属島田中学校、三十歳代に県立三ヶ日青年の家、四十歳代に県教育委員会義務教育課、五十歳代に再度の義務教育課、浜松市教育委員会、そして校長、市や県の校長会の役員等々です。

具体的な業績に乏しく、ただこれらの経験に対しての叙勲ですので、人生のそれぞれの過程でかわいがつていただき支えて

いただいた大先輩・同僚の皆様、とりわけ西山台の同期・同窓の皆様のお陰と深く感謝しています。



瑞宝小綬章

杉田 豊(高9回)

この度、はからずも叙勲の榮を賜わり、五月十四日、東京プリンスホテルにて文部科学大臣から勲記・勲章の伝達を受け、皇居にて天皇陛下に拝謁の榮に浴しました。

伝達式の後、皇居にはバスを連ねて参内し、「豊明殿」に通されました。受章者と配偶者は直立の姿勢で陛下をお迎えし、陛下が中央の壇にお進みになり、受章者代表が御礼言上を申し上げ、陛下からねぎらいのお言葉を賜りました。

バスの人となり皇居を離れる折、妻が申したのは、代表者による「御礼言上」の評価でした。静寂のなか御礼言上の発声までに長い時を感じた。後ろからは所作が見えず、何か異変でも生じたかと心配したという。代表を務めた私は言上書を開くのに手間取ったことを反省し沈んだ思いで帰路につきました。

しかし、翌日、皇居では何事もゆつたりとしており、御礼言上の流れに、特に違和感はない。元氣を取り戻したことでした。

随筆

雑記帳から



城内 康光(高5回)

◆介護に寧日なし

この一年半というものの家内の介護に明け暮れています。その間葬式の準備を始めるようなピンチも訪れ、家内の為にもつと考へてやればよかったと後悔することしきりでしたが、なんとか乗り切り、現在は、要介護5であったのを4に改善、さらに自立を目指して二人で努力中です。

喉元過ぎてこのことを忘れないよう、葬式が一時延期されたものと観念して家内のサービスに努めています。そうすることとはとりもなおさず自分自身の心、と思つています。

一昨年十一月救急車で入院し翌年二月退院しました。その間私が身内だけのために寝袋を持って泊り込みました。

退院後は老老介護ですがハートが取柄です。十二年間の自炊生活の経験が役立っています。日本では病院で、しかも一人で息を引き取るケースがほとんどです。核家族化は時代の趨勢ではあったでしょうが、介護経費の多くを社会的経費にしてしまいましたが、狭隘な住宅は自宅介護に不適です。制度的工夫をして、誰にでも訪れる最期の時を肉親の温もりの中で迎えられるような国にしないでほしい。

◆米津の浜

西高三年の秋、山本二郎先生に廊下で声をかけられました。「城内、東大に受かりたかったら米津の浜へ行って、砂の上に引つ繰り返つて口を開けて空を眺めてこい」といわれたのです。これは悪い冗談だ、と思いましたが。

半年後、受験に失敗しました。家は商売がうまくいかず、大きな借金がありその上、姉が肺結核の長患いで二月半ばに死去。途方に暮れた時、ふと「悪い冗談」を思い出し、早速いわれたとおりやってみました。

すると、気持の和みや広がりを感じ、パワーが湧いてきました。結局、家業の手伝いや家庭教師のアルバイトをしながら勉強を続けました。

数年後このことを山本先生にお話したところ、「覚えていないよ。だけど、いま君から教育の原点を教わったよ」とのことでした。

警察庁警備局長時代、先生から頂戴した陣中見舞のお手紙の一つに「ときありて暇に浮べ米津浜」と認めてありました。

当時西高にはニックネームを持つ個性豊かな先生が多く、勉強以外でも色々影響を与えてくださいました。右はその一例です。

◆國松君(高8回)への引継警察庁長官の後任としてかねて國松君を最適と考へており、早目の時期を選んで後事を託しました。

「Magique des enfants マジックインク」



溝口紀子(高42回)

二〇〇七年末に、男児を出産した。36歳の初産はリスクを伴った、34週にいきなり妊娠高血圧を発症したのだ。肺呼吸ができる35週1日を待って帝王切開で出産した。後になって知ったのだが、どうやら妊娠高血圧発症、帝王切開の母親はこの時点で落ちこぼれママと思う人も少なくないらしい。

産後、母乳育児を目指していたが、母子ともに初めてのせいと思うようにはいかず、ある母乳相談室を訪ねた。「母乳はすばらしい。ミルクで育つた子はキレル子になってろくな大人にならない。」といきなり一撃をくらった。なぜなら私の母親は母乳がでず私は100%ミルクで育ったからだ。さらに、私の職業を聞かれ、育児休暇をとらず、すぐに職場復帰しながら母乳育児をしたというのと、その助産婦は「あなたは帝王切開で無理やり子供だして、陣痛もしらないくせにすぐに働こうなんて最低な母親だ

ね。どうせ母乳は無理だからうちに通う資格なし。」と追い出された。

その時、母乳育児に強烈なフェミニズムを感じた。この一件で、「ミルク100%の私だって五輪で銀メダルを取れたんだから、陣痛もしらない落第母親だけ母乳で育て、仕事と両立させてみせる」と誓ったのである。科学が進んだ現代でも、育児論には、昔ながらの伝統や慣習に縛られていることが多い。そして、アラフォー世代のキャリアを積んだ女性にとって「できにくい、産みにくい、育てにくい」の3拍子の現実社会を、身をもって痛感した。その中でなぜ、私が育児を取らずに仕事を続けたのは、職場や家庭の理解があったからこそだが、なにより自分の息子に、私なりの方法で誇れる母になりたいと思った。

出産したときに、フランスの友人から贈られた言葉に「Magique des enfants」もマジックがある。こどものおかげで、人生の様々な場面で、今までのまくいかななかったことがよくなったり、窮地に助けられたり、何よりも人生そのものが輝きを放つという。実際、育児には理屈では説明できないマジック(魔法)があるのだ。そして現在、子

供と一緒に過ごす時間こそ私にとっての魔法の連続である。

〈略歴〉

埼玉大学大学院教育学研究科修士(一九九七)、静岡県立大学短期大学部社会福祉学科助手(一九九七)、バルセロナ五輪柔道52kg級銀メダル(一九九二)、文部大臣賞スポーツ功労賞(一九九二)、現在、静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科准教授(二〇〇九)、東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻相関社会科学分野博士後期課程在学中(二〇〇九)

なぜ裁判官になろうと思ったんですか？



中丸 隆(高42回)

昨年夏に最高裁が実施した「夏休み親子見学会」へ裁判官への質問タイムに登場した私が、子供たちから一番多く受けたのがこの質問でした。

西高在学中、将来は法律家になりたいと漠然と思い始めた私で

したが、裁判官については、ニュースの法廷映像の影響で、「難しい顔をして座っている無機質で冷たい人たち」といった否定的なイメージしかありませんでした。しかし、司法試験に合格し、実際に裁判官から指導を受けるようになって、意外と気さくで温厚な常識人が多いことを知り、裁判官に対する印象は大きく変わりました。職員が裁判官を「さん」付けで呼んでいるのも新鮮な驚きで、想像していたよりも風通しが良く働きやすい職場だなあと思いました。

(余談ですが、法廷映像の撮影は、開廷前の約2分間に行われ、メラに向かって座っていないければなりません。テレビカメラが入る事件は傍聴人の数も多く、法廷は緊張感のみならず、裁判官がむやみに表情を崩すわけにもいかないのです。どうしてもカメラをにらみつけるような厳しい顔になってしまふのです。裁判官は一般に「官僚的で冷たい」といった印象を持たれがちですが、裁判員制度もスタートし、実際の裁判官に接する市民が増えていけば、少しずつイメージも変わっていくのではないかと期待しています。)

多くの当事者にとって、裁判を受けるのは一生に一度あるかないかの重大事です。私が指導を受けた裁判官たちは、当事者双方の主張や証拠を丁寧に吟味しながら、「この事件の真相は一体何なのか」「どのような解決が最も妥当なのか」を真剣に考え抜いていました。私は、そのような裁判官の姿に感銘を受け、裁判官を志望するようになりました。

「真実は神のみぞ知ると言う言葉がある。しかし、神様だけでなく、実は事件の当事者も真実を知っている。裁判官がその真実を見抜かなければ、負けた方は裁判に失望するだろうし、勝つた方は裁判なんてチヨロいもんだと思うようになるだろう。裁判官は事件を裁いているのではない。当事者から裁かれているんだ。裁判官になろうと思うなら、そのことを忘れないでほしい。」

当時の指導裁判官の言葉が、今も耳に残っています。「なぜ裁判官になろうと思ったんですか？」決して裁判官として一人前とはいえない私ですが、これからの子供たちの問い掛けを思い起こし、初心を忘れず謙虚な気持ちで頑張っていきたいと考えています。

〈略歴〉

平成6年10月、司法試験合格。平成20年4月から最高裁広報課に勤務。平成13年から平成16年まで約3年間、外務省に出向し、同省総合外交政策局国際平和協力室検事兼外務事務官、在ニューヨーク日本国総領事館領事を務めた。

浜松西高 万歳!



小田木基行(高22回)

昭和50年大学4年、まさに石油ショックで企業が募集活動をしなくなった時、広告代理店に憧れ東京で就職活動をしていました。私は理工学部でしたので卒業実験をしながらの就職活動でした。当時は「神田川」「同棲時代」がはやっていた頃です。のんびりしてたんだと思いますが、大手広告代理店の試験は終わっていて、あわてて面接に行っていたことを憶えています。

交通広告では歴史のある巴広告(今は存在しないかも)の役員面接でのひとコマ、「君の高校の大先輩で世界的な有名な人を知ってるか」と質問されとっさに誰も頭に浮かびませんでした。「君は古橋廣之進さん知らないのか?」と怒られました。恥ずかしいことですが雄踏町出身は

知っていました我が西高の大先輩であるとは、知りませんでした。

そんなこんなで東京の海外向け広告代理店で働き27歳のときに浜松に戻り、SBSプロモーションに転職しました。当社は静岡新聞SBSのグループ会社で広告、イベント、WEB、保険、旅行の業務をしています。浜松支社は地域活性化事業を柱に新聞告知、TV、ラジオの告知と番組づくり等の活動をしています。(広告のご用命は当社に ちよつとPR)

そして五年前、西高先輩から突然電話があり古橋廣之進さんの旭日重光章受章記念祝賀会の演出、進行をやれと、そして二〇〇九年三月、文化勲章受章のお祝い会の実行委員として演出、進行もやらせていただきました。水泳部OBの方々はじめ西高同窓会の結束と情熱に感激しました。古橋さんにもお逢いでき、就職活動での失態はカバーできたのではと勝手に思っています。

私の今までと現在の仕事の紹介をさせていただきます。30代の頃は地域活性化事業として大型野外コンサートの実施等を担当しました。一九八八年渚園での「浜田省吾」にはじまり一九

九〇年「米米CLUB・久保田利伸」、そして、BZ、TUBE、サンオールスターズと二〇〇六年にはガーデンパークで「THE夢人島」二〇〇六(サザンオールスターズ他)を開催、12万人(二日間)の来場者をいかにスムーズに気持ち良く退場して頂くかが 私どもの仕事でしたが、一部には帰りが遅くなりご迷惑かけました。また地元の方々、警察署との調整も大切な仕事です。

コンサートだけではなく、一九九八年「浜名湖開湖五百年祭」、二〇〇四年浜名湖花博「浜松産業館EIRA(イーラ)」の基本構想から実施運営まで携わることが出来て光栄です。今は私の大きな財産となっています。打合せの時も地元の話題になり、なんとなく西高出身の匂いを感じ、出身校が同じと判ると嬉しくなることが度々ありました。しかも西高OBということも助けて頂いた事もあります。県外の方とお話すると、この地域は出身大学よりも出身高校のつながりの方が数段強く戸惑ってしまいますとお聞きします。(だから浜松が好きだと思っっているのは私だけでしょうか?)

スポーツ事業の話を見せて頂くならば、サッカーリーグが発足した一九九二年の半年前に、確か全国で一番早くラジオ番組「シユート・ザ・ワールド」(もちろんSBSラジオですが)を制

作しそれに携わりました。サッカーの歴史、JリーグのPRと選手インタビューの番組内容で2年間くらい放送しました。ジュビロが一九九四年にJ1昇格し破竹の勢いでJリーグを制覇して、ファン感謝デイ、優勝祝賀会など楽しい仕事を経験させていただきました。そして今「原点回帰」を掲げて強いジュビロに必ずや再生します。ご期待下さい。

又、昨年プロバスケットのBJリーグ「フェニックス」が浜松市に本拠地を置き活動し始めました。当社も資本参加しスポンサー募集、PR、運営業務をしています。イースタンリーグでは優勝しファイナルでは惜しくも三位になりました。今年10月から二年目が始まりますが「浜松・東三河フェニックス」の3ポイントシユートの醍醐味を是非、試合を見に来て体感してください。

水泳、サッカー、バスケットとスポーツの事を書きましたが私は西高弓道部です。女性部員もいましたけれどとした運動部と私は理解してました。野球の応援は運動部は免除と聞いていましたが弓道部は運動部ではないと言われショックでした。しかたなく文化部に混じって応援練習をやった憶えがあります。来年の二〇一〇年新春の集いは「その道(じんせい)」を極める。」と聞きました。武道に関係

しますのでこの機会に弓道部もOB会を立ち上げようと後輩に話をしたところ快く賛成してくれました。水泳部の大先輩からも大袈裟にしないで、とにかく集まる機会を作ることとアドバイスを受けました。現在23回卒の河村正隆さん、25回卒の齋藤昌彦さんとはじめようと思っ

(株) SBSプロモーション
取締役浜松支社長

「ひよこでも多く 伝えたい」

被爆体験の語り部として

杉山秀夫 (中13回)

三月七日県居公民館において高9回卒の有志の呼びかけで本校の卒業生であり昭和二十五年から四十一年まで数学教師として西高で教鞭をとられた杉山秀夫先生を囲む会が開かれました。先生は昭和二十年八月六日海軍技術少尉として広島に出張中に原子爆弾の被災者となりました。八十六歳になられた今も、求



められれば足を運ばれ歴史の証人としてその日広島で何が起こったか、貴重な体験談を伝えてください。

夢のある西高になれ



林 和男(高20回)

昭和四十三年三月卒(高20回)四百五十名程の卒業生(同窓生)が排出された年度です。

二十二年前に西高同窓会「新春の集い」の当番幹事にあたり、高20回同窓生で「虹友会」を立ち上げ、大会を成功させる為に頑

終戦後十年間口を閉ざされていましたが焼津の第五福竜丸が水爆実験により被曝、久保山愛吉さんが亡くなられたのを機に国内で原水爆禁止運動が活発になり先生も自身の被曝体験を語りはじめました。

現在先生は二〇一〇年核不拡散条約(NTP)再検討会議にむけての署名活動に尽力されておられます。

今回御著書「平和を求めて50周年」を同窓会に寄贈していただきました。同窓会館資料室に置いてあります。ぜひご覧下さい。

張りました。評価はわかりません。

我々当番幹事の時に在校中にお世話になった西高の職員を表彰しようと考え、西山賞を作りましたが、現在は異なった形態になって表彰されています。

我々高20回卒業生も六十歳(還暦)になりました。仲間には孫が西高に入学したよ、との連絡がきたり、遅い人からは息子が今度西高に入ったよ、との連絡が入ってきます。

在学中の楽しかった思い出、面白いエピソードなどを家族の団欒の中で話しが出て、西高に入りたいたいとの気持ちに胸を膨らませ、入学した家族からよく、ま

時代を彩る歌

西高(浜一中)85年の歴史のなかで歌い継がれてきた歌がいくつかありました。そのなかには残念なことに時の流れのなかに埋もれてしまった曲もあります。今回各世代の同窓生の協力のもとそのいくつかをお届けします。

爾中躍進歌

一、西山台上紺碧の空
聳ゆる麓は我等が母校
勵む研鑽不朽の眞理

時代が変わったな。俺らの時は良かったな。との話が聞かれます。西高の精神である「文武両道」の文が先行し、武が後退し、野球部が甲子園で活躍した頃の盛り上がりは夢のような話になってきました。
学生時代に少しはみだしていた者ほど還暦を迎える時、会社の社長や社会のリーダーになって活躍している人が同窓生に多数います。(名前を出すと問題あり)
少子高齢化の波が押し寄せて来る今後、浜松西高同窓生でよかったなと言いたい。
来春、「新春の集い」会場には先輩に負けない人を集めて盛大に鏡割りするつもりです。
高20回卒(虹友会)代表
医療法人社団 和恵会事務局長

二、集り散じて人は変れど
代々にきざし譽は高く
校風なびく黒潮に
三、日進月歩旭日の
輝きわたる西山台
集う我等は数知れず

爾中寮歌

一、其れ西山の丘の上
緑の木蔭に育める
若き生命の丈夫が
虹竜の意気弥高し
戦わんかな時至る
図南の備今成りぬ
虹南の意気湧くところ
勝利の神は宿るら

爾中應援歌

一、東遙かに芙蓉を望み
南に黒潮流れて止まず
そこにぞ聳ゆる我等が爾中
二、尊き神器をしるしと仰ぎ
以下二行不明
三、十有九年の歴史に榮えて
躍進々々凱歌はあがる
以下一行不明

※資料提供 中22回松下史朗

浜松西高躍進歌

一、東遙かに芙蓉をのぞみ
南に黒汐流れてやまず
ここにぞそびゆる我が西高
二、ペンと鏡を徽章と仰ぎ
西山台上健児は鍛う

三、高鳴り覚ゆる我が血汐
四、省略
五、四十余年の歴史に榮え
西山魂兄より受けて
躍進躍進我等が母校

燎原の歌

一、空はコバルト大地は招く
我が夢のわくところ
西高健児の意気高く
沓渺燦たり富士の峰
あ、青春の血は熱く
我等が理想の実るところ
二、金波銀波よ日毎に眺む
幾千尋の太平洋
遠州灘の波高く
鷗群れ飛びしぶき舞う
あ、！ますらお血は燃えて
我等が情熱の集うところ

逍遙歌「さざりたつ」

一、さざりたつ
佐鳴の湖よ 水鳥の
たわむれ去りて
葦かびあおし
いざなう春に
こころひかれて
翁があとを たづぬれば
県居の杜 花は吹雪けり
みどりこき
二、
曳馬の野辺よ もののふの
雄叫び遠く むら草しげし
わきたつ雲に
こころおどりて
井伊の里辺を さまよえば
蝉はしぐれて 陵は苔むす
三、
四、省略

部活報告

高等部吹奏楽部 第32回全日本アンサンブルコンテスト出場!

平成21年二月十五日に静岡市民文化会館で行われた、「第35回東海アンサンブルコンテスト」において、高等部吹奏楽部からトロンボーン四重奏、木管三重奏が出演し、木管三重奏の三名が全国大会に出場を決めました。

三月二十日に富山県の富山芸術文化ホールで行われた、「第32回全日本アンサンブルコンテスト高校の部」に、木管三重奏として森上菜月さん(クラリネット)、丸山莉果さん(フルート)、神農広樹君(オーボエ)が出演し、銀賞を受賞しました。



《森上菜月さんのコメント》

高等部吹奏楽部として全国大会に出場したのは14年ぶりという事で、大変うれしく思います。

定期演奏会の練習と並行してアンサンブルの練習をするのは大変でしたが、今思い返すともいい経験になりました。

これからも、吹奏楽部の応援をよろしく願います。

第35回全日本中学校

陸上競技選手権大会出場

平成20年8月19・20・21日に新潟ビッグスタジアムで行われた、「第35回全日本中学校陸上競技選手権大会」において、九名が出場いたしました。

《黒川奈緒さんのコメント》

昨年、私は中学一年生の頃から目標にしていた全国中学校陸上競技大会に走幅跳びで出場しました。そこで、私が学んだことは、自分自身をコントロールすることの難しさです。

全国各地から強い選手が集まる大きな舞台でそれができず雰囲気にもまれ、良い結果を残せずとても悔しい思いをいたしました。高校生になり、それ以上に厳しいフィールドで戦わなければならぬので、日々の練習を頑張っていきたいです。

《伊藤香里さんのコメント》

私は初めて全国大会に100mと400mリレーで出場して、想像以上の厳しさを経験しました。また、ここまでやってこれたのは先生方や部活の仲間、家族の支えがあったからこそだと実感しました。高校の大会はよりシビアになるので、中学での悔しさをバネに全国1日を目指して努力していきたいと思えます。

《田中健太郎君のコメント》

昨年、僕は中学に入学してからの目標であった、全日中出場を男子共通800mで果たすことができませんでした。これは三年間、目標に向かって日々の練習を頑張ってきたからこそ結果だと思えます。全日中では、全国のレベルを体感することができ、高校での課題を見つけることができました。

これから三年間、また新たな目標が達成できるように、くじけず、日々の練習に励んでいきたいです。



田中健太郎君・伊藤香里さん・黒川奈緒さん

平成20年度クラブ成績一覧表

【中等部】

Table with 8 columns: 陸上, 水泳, 野球, サッカー, 男バスケット, 女バスケット, 男テニス, 女テニス, ソフトテニス, 卓球. Rows list various sports and events with results.

	地区大会に準ずるもの		県大会に準ずるもの		全国大会に準ずるもの	
	大会名	成績・結果	大会名	成績・結果	大会名	成績・結果
吹奏楽	アンサンブルコンテスト西部大会	クラリネット七重奏 金賞 木管五重奏 金賞 打楽器六重奏 金賞 金管八重奏 金賞	アンサンブルコンテスト県大会	クラリネット七重奏 金賞 木管五重奏 金賞 打楽器六重奏 金賞 金管八重奏 金賞	アンサンブルコンテスト東海大会	木管五重奏 出場 打楽器六重奏 出場
弦楽			県小中学校器楽合奏大会 TBSこども音楽コンクール厚木地区大会	2位 合奏1部門 優秀賞		
科学	ロボカップジュニア浜松大会	優勝	ロボカップジュニア東海大会 ロボットコンテスト県大会	7位 3位	ロボカップジュニア Japan Open	11位
美術	歯科衛生ポスターコンクール	入選・佳作				

【高等部】

	静岡県高校総体 西部大会		県大会	東海大会	全国大会	高校新入大会 西部大会		その他協会・連盟 主催の主な大会
	男子	女子				男子	女子	
陸上	男子三段跳 2位 男子400mR 2位 男子100m 5位 女子400mH 優勝 女子400mH 2位 女子1600mR 2位 女子400mH 3位 女子400m 3位 女子やり投 4位 女子100mH 5位 女子砲丸投 7位 女子走高跳 7位 女子円盤投 8位 女子総合 4位	男子三段跳 8位 女子400m 2位 女子400mH 2位 女子400mH 6位	女子400mH 6位	女子400mH 出場	男子100m 優勝 男子400mR 3位 男子1600mR 5位 男子200m 7位 男子800m 7位 男子5000m 8位 女子総合 4位 女子トラックの部 3位 女子400mH 優勝 女子400mH 2位 女子400mH 6位 女子100mH 2位 女子1600mR 2位 女子400m 3位 女子400mR 3位 女子走高跳 5位 男子総合 8位	男子100m 4位 男子400mR 5位 男子5000m 6位 女子400m 3位 女子100mH 6位 女子400mH 3位 女子400mR 5位 女子1600mR 3位 女子走高跳 4位	東海高校新人 女子400mH 4位 女子1600mR 6位 日本ユース選手権 女子400mH 出場	
水泳	男子100mFLY 8位 男子200mBR 8位 女子50mFR 5位 女子800mFR 6位 女子800mFR 7位 女子200mIM 7位 女子400mFR 8位 女子100mFR 8位 女子400mIR 5位 女子400mR 6位 女子総合 6位	女子50mFR 9位 女子400mR 9位			男子100mFLY 3位 男子200mFLY 6位 男子100mBA 8位 男子100mBR 6位 男子200mBR 6位 男子200mBA 9位 男子400mメドレーR 6位 女子総合 9位 女子50mFR 7位 女子100mFR 9位 女子100mFLY 7位 女子100mBR 4位 女子200mIM 5位 女子400mR 7位	男子100mFLY 出場 男子200mFLY 出場 男子100mBA 出場 男子100mBR 出場 男子200mBR 出場 男子200mBA 出場 男子400mメドレーR 出場 女子50mFR 8位 女子100mFR 10位 女子100mFLY 出場 女子200mIM 8位 女子100mBR 11位 女子400mR 出場		
野球		1回戦2-3 静岡市立			2回戦8-1 周知 8回コールド 3回戦4-3 袋井 準々決勝1-0 浜松東 準決勝0-3 浜松市立 3位決定戦5-4 袋井商 予選リーグ 2勝3分 3位 9位	1回戦2-8 常葉菊川		
サッカー	予選リーグ 2勝2敗 4位	ベスト8				出場 出場	選抜県予選ベスト8	
男バスケット	インターハイ予選 2回戦 対開誠館 敗退 9位決定戦 1回戦 対浜松南 敗退							
女バスケット								
男テニス	D 16位	D ベスト32 団体2回戦 団体3位 S 3位 D ベスト8	S 出場	S 出場	D 5位 S 14位 団体戦 8位	D ベスト16 S 1回戦 S 優勝 D ベスト16	全日本ジュニア出場	
女テニス	D 4位							
ソフトテニス	7.8位トーナメント1回戦 0-2 浜松東 3回戦進出	全日本選手権ジュニアの部 出場						
卓球					男子4回戦進出 女子3回戦進出 フェスタ男子-68級準優勝			
柔道	男子団体戦 5位 男子-60級 優勝 男子-63級 ベスト8	男子団体戦 ベスト16 男子-60級 優勝 男子団体戦 ベスト32	男子-60級 準優勝	男子-60級 出場				
剣道	男子団体 15位 女子団体 6位 女子個人 13位	男子団体出場 女子団体出場 女子個人出場			女子団体 15位	女子団体 出場		
弓道	男女個人戦県大会出場 国体地区予選男子団体2位 国体地区予選女子団体3位	個人戦準決勝進出 個人戦決勝進出 17位 女子団体 6位 女子Dスカル 6位			個人・団体県大会出場権獲得	女子団体 13位		
ボート					男子Dスカル 1位 男子舵手つき 2位 男子Sスカル 4位 女子Dスカル 4位 女子Dスカル 6位	男子Dスカル 2位 男子舵手つき準決勝進出	全国選抜大会出場	

	地区大会に準ずるもの		県大会に準ずるもの		全国大会に準ずるもの	
	大会名	成績・結果	大会名	成績・結果	大会名	成績・結果
科学	(化学班)高校化学グランプリ	9名出場				
吹奏楽	吹奏楽コンクール西部大会	A編成 銅賞				
弦楽			全国高校からた選手権大会県予選	部リーグ団体 4位	全国高校総合文化祭群馬大会	出場
百人一首						

イギリス語学

研修を終えて

平成20年7月19日～8月3日
男子14名、女子21名 合計35名参加

研修先 イギリス南部ケント州カンタベリー市「コンコルドインターナショナル」

20時間を越える長旅の末、英国に到着。空港からグリニッジ経由でロンドン市内へと向かいました。バスの車窓から街並みを見て早々に、「帰りたくない」という声が聞こえます。どこをみても建築物は歴史を感じさせる風格が漂っています。住宅はもちろん、レストランの店先に美しく飾られた花々がこの国の気品を感じさせてくれます。

楕円形に作られたカンタベリーの町の中央は車が走っていないので、非常に落ち着いた雰囲気です。ホームステイ先から学校までは徒歩が原則ですが、一日10キロ歩くこともざらで、ちょっとした事情通になれたような気がします。町は城壁に囲まれ、大聖堂やアウグスティヌス修道院跡などの世界遺産と石畳の路地、建物は高さも色彩も統一感があり、歩くだけでも歴史の重みや異文化を感じます。事前に実施した面接で、マザーグースやビートルズ

への憧れを語る者もいましたが、英国には永遠に廃れないものが他にも無数にあるような気がしました。

コンコルド語学学校では、当初、同世代や年下の生徒が自分たちよりも英語を上手に話すことに衝撃を受けたようです。多くの生徒たちは「自分を変えた」と決意表明しましたが、変わらざるを得ない環境に身を置けば、変われるものだと思います。生徒たちは次第に積極性を身に付け、仲間の輪も広がり、帰国後も連絡を取り合っている者もいるようです。ジャパニーズナイト（西高研修生主催のお別れ会）では、研修の成果を如何なく発揮してくれました。最初の班が相撲を見せたところ、観衆は早くも大熱狂してくれたので、パフォーマターのモチベーションは自然と高まり、射的・日本のおもちゃ・クイズ・書道と盛況のうちには終わることができました。班の発表の合間に芸人たちが剣玉・祭りの笛・ボールリフティン

グ・ビートルズソングを披露してくれたことも、盛り上げに役買いました。

研修を通じて、英語でコミュニケーションをする楽しさを体

感できたと思います。今後も単に英語を教科としてだけでなく、英語を通じて何かを学ぶ姿勢を持ち続けて欲しいものです。文化的背景や知識を身に付ける過程で、日本人にない発想・視野の広がりも期待できます。万国共通の楽しみや遊びを見つけた喜び、国境を越えて感情を共有し合えた感動はかけがえのない財産になったはずです。

引率教諭 西脇 洋



奥山和弘先生

平成21年4月19日
於・西高同窓会館

鮮やかな新緑の中を、爽やかな風が吹き抜ける西山台に奥山先生をお迎えし、お話を伺いました。先生は当時の面影そのままだ。先生は低音が響き、洪みを増したようです。先生は卒業アルバムや当時の写真を靴から取り出して、わかりやすくゆつくりと話を進めてくださいました。大人になってからはなかなか味わうことのできないやさしい空気の中、タイムマシンに乗ったかのように、当時の思い出が次々と甦ってきました。

「西高は、この自然が最高だなあ」窓越しにみえるまばゆい緑に目をやり、話は始まりました。浜松西高には昭和60年から7年間、国語科の教員として教鞭をとられました。感動を伝えたという熱い思いから教師になられたそうですが、特に思い入れの強かった『舞姫』（森鷗外）の授業を行えたのは長い教員生活の中でもたった3回だけだったそうです。あの独特でわかりやすく、情熱溢れる授業を多感

恩師訪問

な時期に受けられたことに幸せを感じます。

西高に赴任中の最後の1年間を東大での研究に充てられました。主に「授業進行における教師の意思決定」についての研究をされ、師事した佐藤学教授には大きな影響を受けたそうです。それまでは「教師の有能さとは、限られた授業時間の中でいかに上手く説明できるか、だと思っていた。」しかし、「生徒が自分の導きたい答えとは違った方向に行ってしまったときは、時間を気にして相手を否定し、自分の答えを押し付けるよりも、どうしてそう考えるに至ったのか、その理由を聞いた方が正解に近づくことができるんだよ。これは日常生活にも当てはまるよ。試してごらん。」と。またひとつ、先生から学びました。

その後、教育委員会に11年間出向され、社会教育・女性教育に携わりました。広く社会にむけてメッセージを送り続ける先生のご活躍ぶりには、本当に感服いたします。

現在は掛川西高校の副校長として重責を担われていらつしやいます。お忙しい中、たくさん貴重なお話をお聞かせいただき、本当にありがとうございます。これからの先生の益々のご活躍を心からお祈りいたします。

（高42回 下飯恭子・水嶋明子）

平成20年度入試結果概要

入試合格状況

	平成20年度			平成19年度			平成18年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
国公立大	88	17	105	106	21	127	95	14	109
私立四大	309	43	352	342	60	402	328	73	401
管外大学	2	0	2	0	0	0	1	0	1
各種専門学校	6	0	6	2	0	2	2	0	2

私立大学名 (主要大学)	平成20年度			平成19年度			平成18年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
青山学院大学	5	1	6	7	0	7	2	2	4
学習院大	0	1	1	1	0	1	1	0	1
北里大	2	0	2	4	1	5	0	1	1
慶応大	8	1	9	4	2	6	2	2	4
国学院大	0	0	0	2	0	2	0	0	0
国際基督教大	1	0	1	1	0	1	0	0	0
芝浦工大	6	0	6	10	2	12	11	3	14
上智大	3	0	3	5	1	6	0	1	1
順天堂大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
専修大	3	0	3	7	2	9	0	1	1
成城大	1	1	2	1	0	1	0	0	0
中央大	7	2	9	5	4	9	12	3	15
津田塾大	2	0	2	6	0	6	0	1	1
工学院	0	0	0	0	0	0	6	0	6
東京女子大	0	0	0	4	1	5	4	0	4
東京農大	5	0	5	5	0	5	7	2	9
東京理大	9	1	10	16	5	21	8	6	14
東洋大	4	2	6	0	0	0	6	0	6
日本大	12	0	12	10	0	10	5	0	5
日本女子大	3	0	3	0	0	0	3	0	3
法政大	10	2	12	13	7	20	10	4	14
武蔵工大	2	0	2	3	0	3	3	0	3
明治大	17	3	20	21	1	22	15	1	16
明治学院大	3	1	4	6	1	7	3	1	4
明治薬科大	0	0	0	1	0	1	1	0	1
文教大	0	0	0	3	1	4	1	0	1
立教大	9	0	9	7	1	8	6	3	9
早稲田大	15	1	16	13	4	17	3	1	4
神奈川大	2	0	2	8	0	8	3	0	3
常葉学園大	8	1	9	4	0	4	5	0	5
静岡文化芸大	11	0	11	4	1	5	9	0	9
聖隷クリスト大	13	0	13	4	1	5	6	1	7
愛知大	6	0	6	3	0	3	11	1	12
愛知医大	0	0	0	0	0	0	0	1	1
愛知学院大	2	0	2	3	0	3	5	0	5
中京大	2	0	2	9	1	10	10	1	11
南山大	8	0	8	5	0	5	7	1	8
名城大	11	0	11	7	1	8	16	2	18
名古屋女子大	0	0	0	2	0	2	3	1	4
藤田保健衛生大	0	0	0	3	0	3	0	2	2
椋山女学園大	4	0	4	1	0	1	0	0	0
金沢工業大	0	0	0	0	0	0	3	0	3
日本福祉大	5	0	5	0	0	0	0	0	0
京都外大	2	0	2	3	0	3	5	0	5
京都薬科大	2	0	2	0	0	0	0	0	0
京都産大	0	0	0	0	0	0	2	0	2
京都女子大	2	0	2	3	0	3	3	0	3
同志社大	11	1	12	11	3	14	8	3	11
龍谷大	0	0	0	10	2	12	6	0	6
同志社女子大	1	0	1	0	0	0	10	0	10
立命館大	12	3	15	29	11	40	27	9	36
関西大	1	2	3	10	0	10	13	2	15
関西外大	2	0	2	0	0	0	1	0	1
関西学院大	2	0	2	5	0	5	1	0	1
近畿大	5	0	5	4	1	5	1	1	2
摂南大	0	0	0	0	0	0	0	1	1
産業医科大	0	1	1	0	0	0	0	0	0
私立総計	309	43	352	342	60	402	328	73	401

国公立大学名 (管外大学を含む)	平成20年度			平成19年度			平成18年度		
	現役	卒	合計	現役	卒	合計	現役	卒	合計
北海道大	3	0	3	3	0	3	2	0	2
東北大	1	0	1	4	0	4	0	1	1
秋田大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
福島大	0	0	0	1	0	1	1	0	1
筑波大	4	0	4	1	0	1	1	0	1
茨城大	0	0	0	0	0	0	3	0	3
宇都宮大	0	0	0	1	0	1	0	0	0
群馬大	0	0	0	1	0	1	1	0	1
埼玉大	1	0	1	3	0	3	3	0	3
千葉大	1	0	1	6	1	7	2	1	3
お茶の水女子大	2	0	2	1	0	1	0	0	0
東京大	1	0	1	1	0	1	0	0	0
東京外大	1	0	1	0	0	0	2	0	2
東京学芸大	1	1	2	5	0	5	2	1	3
東京芸術大	2	0	2	0	0	0	0	0	0
東京海洋大	2	0	2	0	2	2	1	0	1
東京工業大	0	1	1	2	0	2	1	0	1
東京農工大	1	1	2	2	0	2	2	0	2
一橋大	1	0	1	1	0	1	0	0	0
電気通信大	1	0	1	1	1	2	1	0	1
横浜国立大	2	0	2	3	1	4	2	2	4
金沢大	2	0	2	4	0	4	5	1	6
福井大	0	1	1	0	0	0	0	0	0
富山大	2	1	3	0	1	1	1	1	2
山梨大	1	0	1	2	2	4	1	0	1
信州大	2	1	3	1	0	1	7	1	8
岐阜大	0	1	1	0	0	0	1	0	1
静岡大	13	0	13	11	4	15	14	2	16
浜松医大	3	1	4	2	0	2	3	0	3
名古屋工大	1	1	2	1	1	2	2	0	2
名古屋大	8	1	9	7	0	7	4	0	4
三重大	2	1	3	0	0	0	1	1	2
滋賀大	0	0	0	0	0	0	3	0	3
京都大	0	0	0	0	1	1	1	0	1
大阪大	3	0	3	4	2	6	0	0	0
大阪教育大	0	0	0	0	0	0	1	0	1
神戸大	2	0	2	2	0	2	0	1	1
奈良女子大	0	0	0	0	0	0	2	0	2
高知大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
岡山大	0	0	0	2	0	2	2	0	2
広島大	0	0	0	2	0	2	1	0	1
山口大	0	0	0	1	0	1	0	0	0
香川大	0	0	0	1	0	1	0	0	0
九州大	2	0	2	2	0	2	0	0	0
長崎大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
鹿児島大	0	0	0	0	0	0	1	0	1
国際教養大	0	0	0	1	0	1	0	0	0
福島県立医科大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
茨城県立医療大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
埼玉県立大	0	0	0	1	0	1	0	0	0
首都大東京	3	0	3	1	1	2	4	1	5
横浜市立大	3	0	3	4	0	4	1	0	1
高崎経済大	0	0	0	0	1	1	2	0	2
山梨県立大	0	0	0	2	0	2	0	0	0
都留文科大	2	0	2	1	1	2	2	0	2
神奈川県保健大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
静岡県立大	7	1	8	6	0	6	5	1	6
愛知県立大	0	0	0	2	0	2	1	0	1
名古屋市立大	1	2	3	0	0	0	0	0	0
愛知県立芸術大	0	0	0	1	0	1	0	0	0
三重県立看護大	0	1	1	0	0	0	0	0	0
奈良県立大	0	0	0	1	0	1	0	0	0
京都府立大	1	0	1	1	0	1	0	0	0
京都府立医科大	0	1	1	0	0	0	0	0	0
大阪府立大	0	1	1	1	0	1	1	0	1
大阪市立大	0	0	0	1	0	1	0	0	0
兵庫県立大	0	1	1	1	0	1	0	0	0
気象大学校	1	0	1	0	0	0	0	0	0
防衛大	1	0	1	0	0	0	0	0	0
航空保安大学校	0	0	0	0	0	0	1	0	1
国公立(管外)総計	90	19	109	106	21	127	96	14	110

第5回同窓会講演会

平成20年11月20日、浜松西高のOBで、現在JALパイロットでいらっしゃる稲野晴久さん(高23回)を講師に迎え、中等部、高等部の千八十人の生徒を前に「NO ATTACK NO CHANGE」という演題で講演会を開催しました。パイロットとしての経験をいかして、私たちでは知り得ないようなお話を交えながら、生徒達に挑戦する大切さ、「NO ATTACK NO CHANGE」を熱く語られていました。

西山賞受賞者

西山賞とは「全国レベルで格別に優れた業績・功績を挙げた生徒」に対して、3部門別(文化・芸術部門、スポーツ部門、善行部門)に同窓会から卒業時に授与されるものです。

中等部

▼文化芸術部門

鈴木明日香

- 「平成18年度全日本アンサンブルコンテスト」木管三重奏金賞
- 「平成19年度全日本アンサンブルコンテスト」木管三重奏金賞
- 「平成19年度全日本アンサンブルコンテスト」木管三重奏金賞
- 「平成19年度全日本アンサンブルコンテスト」木管三重奏金賞

「平成19年度全日本アンサンブルコンテスト」木管三重奏金賞

ルコンテスト」木管三重奏金賞
▼スポーツ部門

内山ひかる

- 「平成19年度全国中学生テニス選手権」女子ダブルスベスト8
- 「平成20年度全国中学生テニス選手権」女子ダブルス ベスト16

黒川奈緒

- 「平成18年度ジュニアオリンピック」
- 「平成19年度ジュニアオリンピック」

- 「平成20年度全国中学校陸上競技選手権」走幅飛出場

- 「平成20年度全国中学校陸上競技選手権」走幅飛出場

伊藤香里

- 「平成20年度全国中学校陸上競技選手権」1000m出場、400mリレー準決勝進出
- 「平成20年度ジュニアオリンピック」1000m出場

田中健太郎

- 「平成20年度全国中学校陸上競技選手権」800m出場

高等部

▼スポーツ部門

天野早紀

- 「平成18年度全国高等学校総合体育大会」女子16000mリレー出場、女子総合6位
- 「平成20年度全国高等学校総合体育大会」女子4000mハードル出場

- 「平成20年度全国高等学校総合体育大会」女子4000mハードル出場

鈴木壮太

- 「平成20年度全国高等学校総合体育大会」柔道60kg級出場

新刊紹介

同窓生の著作です

「春の坂道」

河合九平 (中19回)



「たのしいハーモニカ」

アンサンブル曲集
清水椒治 (高6回)



「日本人にはもう売るな!」

菅谷義博(高40回)



「がんにになったら」

すぐ読む本
渡辺亨 (高26回)



「平成22年度静岡県立浜松西高等学校・同中等部の入学者選抜」について(予定)

	中等部	高等部
募集定員	160名(4学級)	80名程度(2学級)
選抜資料	総合適性検査、作文、面接、調査書等	調査書、学力検査、面接、実技検査(希望者)
実施期日	平成22年1月9日(土)総合適性検査、作文	平成22年3月3日(水)学力検査等
	平成22年1月10日(日)面接	平成22年3月4日(木)面接、実技検査(希望者)

*お知り合いの方々にお知らせください。

編集後記

- ◆ 今年には編集委員会にも若い力が加わり、頼もしい限りです。同窓会も編集委員会も、上手に世代交代したいですね。(T)
- ◆ 3月末から何度かの会合を開きそのつど少しずつ形が出来上がっていった会報です。一生懸命が伝わりますか?(M)
- ◆ 編集委員も今年で7年目。毎年同じ作業をしているのに、最後はいつもバタバタです。来年こそ余裕を!(Y)
- ◆ 編集委員最年長なのに...。いつも女性陣にやられっぱなしです。先輩を大切に!(T)
- ◆ 四名の新しい力が加わりパワーアップしました。(K)

会報編集委員

- 左右田丈夫 (中19回)
- 近藤 哲哉 (高9回)
- 土屋 孝典 (高14回)
- 伊藤多恵子 (高24回)
- 西尾 和三 (高24回)
- 佐野 元恵 (高25回)
- 伊藤 陽子 (高26回)
- 野村 千明 (高38回)
- 山本 優美 (高40回)
- 西澤位知子 (高41回)
- 加藤 善彦 (高42回)
- 平野 亜紀江 (高42回)
- 水嶋 明子 (高42回)
- 下飯 恭子 (高42回)